価格

基本となる台帳機能に必要なオプションを組み合わせることで、様々な業務にご利用いただけます。

月額構成

月額費用 ＝ 基本料 ＋ オプション ＋ ユーザーライセンス数

費用例

1. 月額費用	月額 70,000 円	＝	基本機能	＋	棚卸し管理オプション	＋	5ユーザーライセンス
2. 初期導入費用	約 90 万円（サポートプラン※1）	or	0 円（スタートプラン※2）				

※1 サポートプラン：ご要望の管理台帳を構築し、すぐに運用開始できるようサポート。
※2 スタートプラン：台帳テンプレートを提供するため、初期費用を抑えて導入可能。

導入実績※

※ 2026年7月時点

累計導入実績は1,300社を突破し、業種業態問わずあらゆる企業・組織で採用いただいています。

販売パートナー募集中！

資料請求
お問い合わせ

株式会社コンビベース　営業部　マーケティンググループ

03-5643-6743　cb-info@convibase.co.jp

Convi.BASE

株式会社コンビベース
東京都中央区日本橋茅場町3-11-10 PMO日本橋茅場町ビル8F

※ 記載されている社名及び製品名はすべて各社の商標または登録商標です。

202607-1

固定資産や備品などの
あらゆる”モノ”の情報を一元管理

物品管理クラウドサービス

Convi.BASE®
コンビベース

物品管理システム導入実績 No.1

累計導入実績 1,300社

※ 日本マーケティングリサーチ機構調べ（2025年1月期実績調査）

Q なぜ今、「物品管理」が重要なのか？

A 大切な「資産」を適切に管理・運用するため

業務で使用するパソコンや社用携帯、オフィス什器などは、すべて会社が所有する「資産」です。「誰が、どこで、どのように使用しているか」を正確に把握することは、企業経営において不可欠なプロセスです。

管理を怠り、実態を把握できなくなると、次のようなリスクを招く恐れがあります。

資産の所在が不透明になり
管理状態が把握できなくなる

物品の重複購入や不要な納税で
コストが増大する

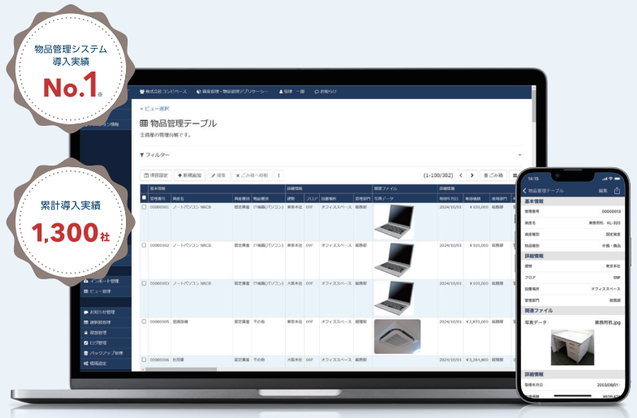
紛失による情報漏洩や
破損による事件事故が発生する

Q 「Convi.BASE（コンビベース）」とは？

A 導入実績No.1※の物品管理クラウドシステム

柔軟な管理台帳で物品情報を一元化し、QRコードやICタグで現物と紐づけることで、
物品の状態や状況などを簡単かつ正確にマネジメントできます。

Convi.BASEであらゆる物品の適正な管理・運用を実現します。



※ 日本マーケティングリサーチ機構調べ（2025年1月期実績調査）

管理対象を問わず
あらゆる物品の管理が可能です！

- 固定資産
- 備品
- IT資産
- リース資産
- 文書
- 制服
- 鍵
- 工具
- 設備
- 金型・治具
- 店舗什器
- 医療機器
- 防災備蓄品
- 資材・予備品

外部システムとのCSV・API連携で あらゆる物品情報を一元管理

外部システム

会計システム
償却管理システム
ERP
⋮

※ 一意の管理番号をキーにして連携するため、
連携先のシステムは問いません。

CSV・API連携

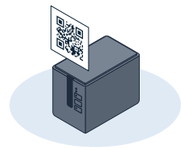
物品情報を一元管理

Convi.BASE®
コンビベース

管理項目を自由に設定して、
あらゆる物品管理の業務・用途で活用

管理項目例		
	設置場所	担当部門
	利用者	利用状況
	関連ファイル	アクション期日

管理ラベルの発行



対応ラベル			
	バーコード	QRコード	ICタグ

管理ラベルの貼付・スキャン

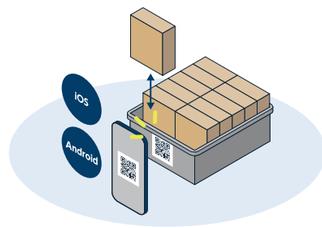
個品（1点ずつ）の管理

1点ずつの個品管理は、管理ラベルを現物に直接貼付※

管理ラベルをスキャンしてできること

- データ参照・更新
- 個品の棚卸し
- 個品の入出庫
- 貸出し・返却
- 点検記録

在庫数量の管理



在庫数量の管理は、在庫を保管している箱や棚などへ
品目ごとに管理ラベルを貼付

管理ラベルをスキャンしてできること

- データ参照・更新
- 数量の棚卸し
- 数量の入出庫

※ 管理ラベルを直接貼付できない場合、帳票機能（QRコード付きの一覧帳票、一品一葉帳票）をご用意しています。

うちの会社でも必要…？

物品管理システムの導入要否チェックリスト

ひとつでも当てはまればシステム導入のメリットあり！

- 管理すべきモノの数が500点以上ある
- モノの管理状況について監査で指摘を受けた
- 入退社や人事異動などでモノの移動が頻発する
- IT機器、備品などのリプレイス計画がある
- Pマーク取得、ISO取得、上場などの計画がある
- 拠点の統廃合、新設、移転などの計画がある

Excelによる物品管理の問題点

Excelによる物品管理では、物品点数が行数に直結するため、管理点数が増えるほど台帳の更新が困難になります。常に最新の状態を保つには限界があり、結果として現場の実態が特定の担当者にしか分からない「管理の属人化」が起きてしまうことも…。

管理番号	資産名	資産種別	建物	フロア	取得年月日	管理部門	利用部門	利用者
00000001	オフィスデスク	固定資産	東京本社	9F	2022年9月15日	総務部	総務部	管理花子
00000002	オフィスデスク	固定資産	東京本社	9F	2022年9月15日	総務部	総務部	管理花子
00000003	オフィスチェア	固定資産	東京本社	9F	2022年9月15日	総務部	総務部	管理花子
00000004	オフィスチェア	固定資産	東京本社	9F	2022年9月15日	総務部	総務部	管理花子
00000005	デジタルカメラ	備品	大阪支社	2F	2023年5月23日	営業第二部	営業第二部	企画三郎
PC000001	ノートパソコン	固定資産	東京本社	9F	2024年3月5日	情報システム部	営業第一部	売上太郎
PC000002	ノートパソコン	固定資産	東京本社	9F	2024年3月5日	情報システム部	営業第一部	受注二郎
PC000003	ノートパソコン	固定資産	東京本社	9F	2024年3月5日	情報システム部	営業第一部	成約一郎
PC000004	ﾊﾟｿｺﾝ	IT資産	大阪支社	2F		情報システム部	営業第二部	企画三郎
FL250001	複合機	リース資産	東京本社	9F	2025年6月30日	総務部	営業第一部	管理花子
FL250002	複合機	リース資産	大阪支社	2F	2025年6月30日	総務部	営業第二部	管理花子

01 「誰が」「いつ」「何を」更新したかわからない…

02 拠点や部門ごとに複数のExcelファイルが存在するため全体像が見えない…

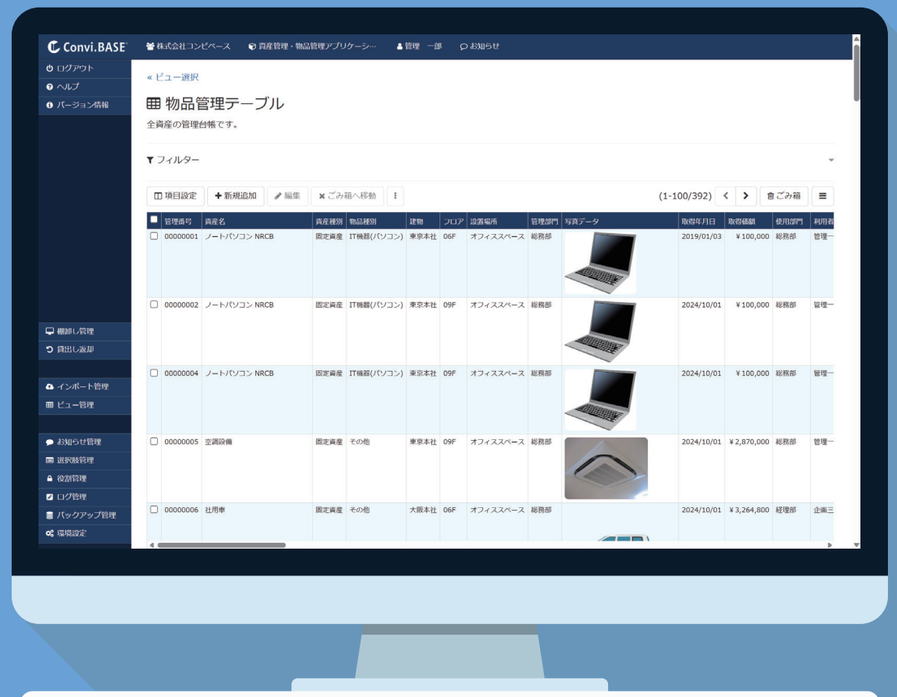
03 関連ファイルの紐付けや期日の管理ができない…

04 Excelの管理情報と実際の管理状態が違う…

05 棚卸しはExcelを印刷して手作業で照合するため工数がかかりミスも起きる…

Convi.BASEによる解決策

Convi.BASEは、管理項目を自由に設定できるクラウド台帳です。既存の運用に合わせた管理台帳を構築でき、バラバラだった物品情報を一元化することで、管理業務の効率化を実現します。



→ 更新者、更新日時、更新内容などの履歴情報を自動で記録。
変更点は緑色にハイライト表示されるので、変更内容の追跡も可能。

→ 物品情報をクラウド上で一元化し、他拠点や他部門などの管理状態を見える化。
ログインIDごとに閲覧や編集範囲の権限設定も可能。

→ PDF・Excel・画像ファイルなどのファイルを添付して物品情報と紐づけ。
期日管理は、期日到来〇〇日前といった任意のタイミングでアラートメールを送信。

→ QRコードやICタグ※1の管理ラベルを発行し、管理対象に貼付して台帳と現物を紐づけ。
専用のiOS・Android※2アプリでスキャンして、移動や廃棄のタイミングで情報更新。

→ 棚卸しリストをボタン操作で作成し、担当者は専用のiOS・Androidアプリで受信。
同アプリ※2でスキャンするだけで棚卸しでき、棚卸し結果を送信すれば自動で集計。

※1 ICタグはiOSアプリとRFIDリーダーをBluetooth接続してスキャンします。 ※2 AndroidアプリはQRコードのみ対応しています。